

「第4期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H30実績	担当課
1 県民等の 防犯意識の 高揚	(1)自主的な防犯環境整備の推進	身近な防犯環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページや各種会合において、防犯指針を踏まえた防犯環境の整備について広報啓発を行った。(環境生活総務課) ●ボランティア団体と警察の協働パトロール、通学路の点検、地域安全マップの作成を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯灯、防犯カメラの設置促進	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラの設置促進について記載されている防犯指針を、県ホームページで公表・周知を図った。(環境生活総務課) ●警察予算による街頭防犯カメラを設置した。(生活安全企画課) ●JA共済連から県防犯連合会に街頭防犯カメラ80台の寄贈を受け、県内各地に設置した(生活安全企画課) ●自治体、企業等に対し、街頭防犯カメラの設置の働きかけを実施した。(生活安全企画課) ●浜田市と浜田警察署による、ふるさと納税型ガバメントクラウドファンディングにより街頭防犯カメラ26台を設置した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2)各種媒体を活用した広報・啓発	各種広報媒体を活用した県民への意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●ラジオやホームページ、新聞広告、チラシ、しまね安全安心ネットメール、ツイッター等を活用した広報啓発を行った。(環境生活総務課) ●民放テレビ局の情報番組やテレビ・ラジオのスポットCMのほか、ホームページ、ポスター等を活用した犯罪被害防止広報を実施した。(生活安全企画課) ●みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッター等により県民に対し、各種防犯情報を提供した。(生活安全企画課) ●交番広報紙等により、各種防犯情報を提供した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		啓発ポスターの募集や表彰	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰中央新報社と、犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクールを主催し、171点の応募があった。(担当3課) ●小・中学校、高校等に対して啓発ポスターを募集し、優秀作品の審査、表彰及び作品を活用した広報を行った。(担当3課) ●啓発ポスターの募集について、県立学校へ依頼した。また優秀作品の審査、表彰に参加した。(教育指導課) ●各警察署において小・中・高校等に対する募集活動を実施した。(生活安全企画課) ●10月13日、松江市で開催した「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」において、最優秀賞等の表彰を行った。(担当3課) 	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
		犯罪は最大の人権侵害であることについての広報啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●「しまね人権フェスティバル2018」において啓発展示を実施した。(出展:環境生活総務課 10月21日・江津市・参加者約850人) 	人権同和対策課
	(3)まちづくり旬間における広報・啓発	「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の浸透化と定着化	<ul style="list-style-type: none"> ●10月11日、JR松江駅において、旬間開始街頭キャンペーンを行った。(担当3課) ●各種媒体を活用した「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の広報を実施した。(環境生活総務課、生活安全企画課) ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」(10月13日・松江市)及び「地域防犯ボランティア交流会」(10月20日・大田市)を開催した。(担当3課) 	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
	(4)地域安全情報の提供	重層的防犯ネットワーク等を活用した安全安心情報等の迅速な提供	<ul style="list-style-type: none"> ●金融機関、配送事業者、コンビニエンスストア宛ての振り込めメールネット及びオートコールで特殊詐欺発生時に情報提供をして水際対策の強化を図った。 ●民生児童委員、公民館、老人クラブ連合会へ「防犯テキスト」等を配布し、防犯意識の啓発に活用を依頼した。 	生活安全企画課
		多様な広報媒体を通じて犯罪情報や防犯対策等の情報の広域的な提供	<ul style="list-style-type: none"> ●「くらしの情報」の発行、「たまされないゾクくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、悪質商法や特殊詐欺被害防止等に関する情報をタイムリーに発信した。(環境生活総務課) ●テレビや新聞等を活用し、特殊詐欺をはじめ各種犯罪被害防止等を目的とした情報提供を実施した。(生活安全企画課) ●みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッターを利用しタイムリーかつ広域的な情報提供を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		「みこびー安全メール」や「不審者情報マップ」による犯罪情報等の迅速な提供と加入者の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッターにより、タイムリーな情報を提供するとともに、島根県警察ホームページでの登録呼びかけや、学校、各種防犯講習会において周知活動を実施するなど、登録者の拡大を推進した。(メール登録者6,922人/431,3米)(担当2課) ●島根県警察ホームページに「不審者情報マップ」を掲出し、随時更新を行った。(担当2課) 	生活安全企画課 少年女性対策課
	(5)講演会・研修会等の開催	県内の通話エリア拡大の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村が実施する携帯電話の不感地域を解消するための移動通信用鉄塔設備を支援した。(国庫補助事業) ・実施地域 7地区(事業費 190,884千円) ※平成29年度からの繰越分を含む 	情報政策課
		専門家等による講演会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」(10月13日・松江市)を開催し、その中で立正大学西田公昭教授を招いて、「たまされない力をつけよう！～被害心理からの詐欺対策～」と題した講演会を開催した。(担当2課) ●「地域防犯ボランティア交流会」(10月20日・大田市)を開催し、その中で駿河台大学小俣謙二教授を招いて、「住民による防犯～課題と展望～」と題した講演会を開催した。(担当2課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	(6)鍵かけ運動の広報・啓発	安全安心アドバイザーや防犯設備士による研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●開催なし(担当2課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
広報媒体を活用した啓発と駐輪場等での注意喚起による鍵かけの普及促進		<ul style="list-style-type: none"> ●鍵かけ等をテーマとした犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスター募集(5月～9月)を行い、171点の応募があった。(担当2課) ●防犯ボランティア等との協働により、駅や学校の駐輪場における防犯診断及び大型スーパー等における啓発活動を実施した。(生活安全企画課) ●4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠の活用や街頭での広報啓発活動を行い鍵かけ普及活動を推進した。(生活安全企画課) ●平成29年度、高校を対象とした「鍵かけ甲子園」の優勝校の生徒がデザインしたポスター等を作成・配布した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課	
(7)県民等の意識調査・研究	自動車盗や車上ねらいの自動車関連犯罪の被害防止	<ul style="list-style-type: none"> ●4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠を活用して鍵かけ普及活動を推進した。 ●ボランティアとともに駐車場等での鍵かけ点検を実施した。 	生活安全企画課	
	安全安心まちづくりに関する意識・実態調査	<ul style="list-style-type: none"> ●しまねwebモニターにより、「安全安心まちづくり」に関するアンケート調査を行った。(担当2課) 	環境生活総務課 生活安全企画課	

「第4期鳥根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H30実績	担当課
1	(1) 防犯ボランティア団体への支援	自主防犯活動の継続・活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」(10月13日・松江市)を開催し、その中で全国防犯功労者・団体への表彰状伝達を行い、活動に功労のあったボランティア団体を参加者にお披露目するとともに称賛した。(担当2課) ●「地域防犯ボランティア交流会」(10月20日・大田市)を開催し、その中で駿河台大学小俣謙二教授を招いて、「住民による防犯～課題と展望～」と題した講演会を開催した。(担当2課) ●各地区のボランティアリーダーによる「鳥根県地域安全推進員連絡協議会総会」を開催し、防犯活動の継続・活性化について情報交換と研修を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯リーダーの育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域防犯ボランティア交流会」(10月20日・大田市)を開催し、その中で、地元ボランティア団体による事例発表や駿河台大学小俣謙二教授を招いて、「住民による防犯～課題と展望～」と題した講演会を開催した。(担当2課) ●中四国防犯ボランティアフォーラムにボランティア団体の活動内容を報告した。(7月の広島豪雨災害により開催中止)(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		地域活動団体に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ●各地域の防犯ボランティアに対して、青色回転灯などの防犯活動を行うための物品を貸与した。 ●自主防犯活動を活性化させるため、みこび一安全メール等により、安全安心情報等を継続的に発信した。 ●地域安全推進員及び青色防犯パトロール隊員をボランティア保険へ加入した。 	生活安全企画課
		「しまね防犯ネットワーク」への登録呼びかけ等	<ul style="list-style-type: none"> ●県ホームページにおいて、継続的に登録の呼びかけを行った。(H31.3末現在・128団体) ●子ども・女性みまもり運動実施事業者を継続的に募集した。(H31.3末現在1540事業所) 	環境生活総務課
		優良活動団体に対する表彰	<ul style="list-style-type: none"> ●優良な活動を3年以上継続して実施している防犯ボランティア団体について、各市町村・警察署から推薦を受けた5団体に対し、「犯罪のない安全で安心なまちづくり賞」を授与した。(2月) 	環境生活総務課
2	地域での自主的な活動、連帯意識向上の推進	住民の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年育成鳥根県民会議と連携して「しまね家庭の日」【しまニッコ！】県民運動の普及活動を推進し、地域・職場の絆強化に努めた。(青少年家庭課) ●青少年育成団体の活動を促進するため、関連支援事業により7団体を財政補助した。(青少年家庭課) ●公民館を核として、「地域課題解決型公民館支援事業」、「ふるさと体験活動公民館支援事業」、「公民館ふるさと教育推進事業」、「公民館ふるまい推進事業」等を実施し、多世代にわたり地域住民が関わり合いながら活気ある地域づくりを進める取組が図られた。(社会教育課) <ul style="list-style-type: none"> ○地域課題型公民館支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区等 30箇所 ・事業費 11,566千円 ○ふるさと体験活動公民館支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施公民館等 5館 ・事業費 600千円 ○公民館ふるさと教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施公民館等 26館 ・事業費 5,115千円 ○公民館ふるまい推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実施公民館等 21館 ・事業費 996千円 ・参加者数 約2,754人 ●学校・家庭・地域をつなぐPTA活動活性化事業においては、親世代が中心となって構成されるPTA等に事業委託を行い、親世代の学びと多世代の交流が生まれ、地域を担う次世代の育成とともに、地域全体で家庭教育を支援する機運が醸成された。(社会教育課) <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 6件 ・事業費 600千円 ●「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」においては、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で子どもを育む活動を行う市町村への支援を行った。(社会教育課) <ul style="list-style-type: none"> ○事業費 59,679千円(国、県負担分) 【実施市町村】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援 14市町村 ・地域未来塾 4市町村 ・放課後支援 18市町村 ・外部人材を課徴した教育支援 6市町村 ・家庭教育支援 12市町村 ●少年に対するスポーツの参加や社会活動への参加を呼びかけ、地域における交流活動を促進した。(少年女性対策課) 	青少年家庭課 社会教育課 少年女性対策課
		住民の連帯意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」(10月13日・松江市)を開催し、その中で全国防犯功労者・団体への表彰状伝達を行い、活動に功労のあったボランティア団体を称賛した。(担当2課) ●「地域防犯ボランティア交流会」(10月20日・大田市)を開催し、その中で地元ボランティア団体による事例発表や駿河台大学小俣謙二教授を招いて、「住民による防犯～課題と展望～」と題した講演会を開催した。(担当2課) ●各地区のボランティアリーダーによる「鳥根県地域安全推進員連絡協議会総会」を開催し、防犯活動の継続・活性化について情報交換と研修を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
		事業者による子どもや女性の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・女性みまもり運動実施事業者を継続的に募集した。(H31.3末現在1540事業所が登録)(担当2課) ●県内の事業者に対して「子ども110番の家」への参加を働きかけた。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
(3) 事業者の自主的な活動の推進	事業者による効果的な防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●金融機関や小売店等の事業者に対し、防犯対策についての講習の実施及び犯罪情報を提供した。 ●山陰中央新報社等による「黄色い手帳運動」(ボランティア団体に対する青色回転灯の贈呈等)を後援し、指導、助言を実施した。 	生活安全企画課	
	事業活動にあわせた自主的な活動	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯CSR活動の普及促進を推進した。 	生活安全企画課	
	(4) 高齢者の社会参加活動の推進	高齢者による安全安心まちづくり活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●老人クラブが行うボランティア活動など高齢者大学校の運営に対する支援を行った。 	高齢者福祉課

「第4期島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画」に基づく進行管理表（事業実施状況表）

第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H30実績	担当課
3 特殊詐欺を発生させない気運の醸成	(1) 個別訪問等による被害防止広報・啓発の充実	警察官等の戸別訪問活動時の直接的な被害防止広報	<ul style="list-style-type: none"> ● 独居高齢者への個別訪問用に、「独居高齢者向け悪質高法被害防止啓発シール」を作成・配布(33,000部)して直接的かつ具体的な注意喚起を行った。(環境生活総務課) ● 高齢者に対する個別訪問により、最新の手口の紹介や被害防止対策等について直接的かつ具体的な注意喚起を実施した。(生活安全企画課) ● 特殊詐欺被害防止コールセンターを設置(H30.5月～H31.3月)し、電話による直接的な注意喚起を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2) 各種媒体を活用した被害防止の広報・啓発の充実	各種広報媒体を活用した特殊詐欺被害発生状況、防止対策等の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 「くらしの情報」の発行、「だまされないゾウくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等に関する情報をタイムリーに発信した。(環境生活総務課) ● 「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会」(10月13日・松江市)を開催し、その中で立正大学西田公昭教授を招いて、「だまされない力をつけよう！～被害心理からの詐欺対策～」と題した講演会を開催した。(担当2課) ● テレビ、新聞、ラジオ等に加え、みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッター等を活用して、被害発生状況や被害防止対策に関する情報を発信し、被害防止のための広報啓発を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	(3) 被害発生時の被害拡大防止のための迅速的確な情報提供	被害発生時の手口等の広域的な情報提供による被害拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 「だまされないゾウくんツイッター」、「しまね安全安心ネットメール」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等に関する情報を早期に発信した。(環境生活総務課) ● 被害発生時はテレビ、新聞等各種広報媒体を活用し最新の手口等に関する早期情報提供を実施した。(生活安全企画課、捜査第二課) ● 特殊詐欺の前兆電話認知時に、メール、ツイッター、告知放送を活用し早期に情報提供し、被害拡大防止のための注意喚起を実施した。(生活安全企画課、捜査第二課) 	環境生活総務課 生活安全企画課 捜査第二課
	(4) 出前講座、被害防止研修会等の充実	特殊詐欺に関する出前講座や被害防止研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> ● 特殊詐欺被害防止等のための出前講座や研修会を開催し、県民の抵抗力を高め、被害発生時の未然防止のための活動を行った。(担当2課) ● 防犯教室等への参加呼びかけを推進した。(生活安全企画課) ● 寸劇や歌を盛り込み親しみやすい防犯教室を実施した。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課
	(5) 金融機関等と連携した水際阻止対策の強化	チェックシートの確実な活用や声かけの徹底等による未然防止活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月24日、島根県金融機関防犯連合会において、特殊詐欺被害防止に関する水際対策の重要性について啓発を行った。(担当2課) ● 金融機関等に対する声かけ訓練を行い、チェックシートの活用方法等を確認するなど被害防止のための連携の強化を図った。(生活安全企画課) ● 「振り込めメールネット」及び「オートコール」により、特殊詐欺に関する情報をタイムリーに発信し、水際阻止対策の強化を図った。(生活安全企画課) ● ボイスボリス、特殊詐欺被害防止ポップを活用したATMでの被害防止対策を推進した。(生活安全企画課) ● 宅配業者に対し、宅配便等で現金送付する被害防止のための「現金は入っていません」シールを継続配布し、窓口での声かけ強化を図った。(生活安全企画課) ● コンビニエンスストア対象に電子マネーによる被害防止用封筒を配布し、レジでの声かけ及び被害防止の強化を図った。(生活安全企画課) 	環境生活総務課 生活安全企画課